

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	小児看護援助論Ⅰ 「小児の健康問題と看護」	担当講師	上田雅章 藤林洋美 西藤知城 小谷和大
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	30時間
科目設定のねらい 小児にみられる主な疾病や障がいを理解し、看護に必要な知識を学ぶ。 小児期に多い特徴的な症状が子どもとその家族に及ぼす影響を理解し、小児期特有の症状別看護を学ぶ。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指 導 方 法	
16	1. 小児特有の疾患の病態と診断・治療が理解できる	1) 染色体異常・体内環境により発症する先天異常の疾患の病態と診断・治療 2) 新生児の疾患の病態と診断・治療 3) 代謝系の疾患の病態と診断・治療 4) 内分泌系の疾患の病態と診断・治療 5) 免疫系の疾患の病態と診断・治療 6) 感染性の疾患の病態と診断・治療 7) 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療 8) 循環器系の疾患の病態と診断・治療 9) 消化器系の疾患の病態と診断・治療 10) 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療の疾患の病態と診断・治療 11) 悪性新生物の病	おもな疾患の病態と診断・治療 常染色体異常、性染色体異常、胎芽病と胎児病 おもな疾患の病態と診断・治療 分娩損傷、適応障害、感染症 低出生体重児の疾患、成熟異常 おもな疾患の病態と診断・治療 先天代謝異常症、糖尿病、アセトン血性嘔吐症 おもな疾患の病態と診断・治療 下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、性腺の異常 おもな疾患の病態と診断・治療 食物アレルギー、気管支喘息、原発性免疫不全症、リウマチ性疾患 おもな疾患の病態と診断・治療 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎、百日咳 ほか おもな疾患の病態と診断・治療 上気道の疾患、急性気管支炎、細気管支炎、肺炎 おもな疾患の病態と診断・治療 先天性心疾患（左右短絡群、右左短絡群）、川崎病、後天性心疾患 おもな疾患の病態と診断・治療 口腔疾患、横隔膜の疾患、食道の疾患、胃・十二指腸の疾患、小腸・大腸の疾患、腹膜・腹壁の疾患、肝臓・胆道の疾患 おもな疾患の病態と診断・治療 貧血・出血性疾患 おもな疾患の病態と診断・治療	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	

		態と診断・治療 12) 腎・泌尿器系および生殖器系の疾患の病態と診断・治療 13) 神経系の疾患の病態と診断・治療 14) 運動器系の疾患の病態と診断・治療 15) 感覚器系の疾患の病態と診断・治療 16) 精神・心身の疾患の病態と診断・治療 17) 事故と外傷の診断・治療	造血器腫瘍、脳腫瘍、その他の固形腫瘍 おもな疾患の病態と診断・治療 先天性腎尿路奇形、糸球体疾患、尿細管間質疾患、慢性腎臓病、急性腎障害、生殖器・外性器の疾患 おもな疾患の病態と診断・治療 神経系の先天異常、けいれん性疾患、脳性麻痺、髄膜炎、ギラン・バレー症候群、小児の言語障害(吃音)、筋ジストロフィー、 おもな疾患の病態と診断・治療 先天性股関節脱臼、先天性内反足、骨折 おもな疾患の病態と診断・治療 母斑、蕁麻疹、伝染性膿痂疹、睫毛内反、外耳の奇形、アデノイド増殖症 おもな疾患の病態と診断・治療 発達障害、チック症、PTSD、食行動障害および摂食障害群 おもな事故と外傷の診断・治療 頭部外傷、誤飲、溺水、熱傷	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義
12	2.健康問題のある子どもと家族への看護が理解できる	1) 症状を示す子どもの看護 2) 検査・処置を受ける子どもの看護	(1) 子ども特有の症状 ①不機嫌・啼泣 ②発熱 ③消化器症状(脱水・嘔吐・下痢) ④痛み ⑤呼吸困難 ⑥けいれん・意識障害 (2) 上記の症状を伴う看護 (1) 子どもにとっての検査・処置	講義 講義
2	試験		筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 医学書院 山元恵子監修 写真でわかる小児看護技術アドバンス インターメディカ 高木永子監修 看護過程に沿った対症看護病態生理と看護のポイント第5版 学研メディカル秀潤社			
参考文献	鴨下・柳澤/監修 子どもの病気の地図帳 講談社			
評価方法	出席状況、授業への取り組み、筆記試験、レポート			

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	小児看護援助論Ⅱ 「健康問題をもつ乳幼児と 家族への看護」	担当講師	梶井弘美 松本由美 松岡 茜 小谷和大
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	30時間
科目設定のねらい 小児看護援助論Ⅰ「小児の健康問題と看護」での基礎知識をもとに、健康障害や入院が乳幼児とその家族に及ぼす影響について理解する。発達段階や病期に適した看護が実践できる知識・技術を学ぶ。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
2	1. 低出生体重児の看護が理解できる	1) 低出生体重児の看護	(1) 体温管理(2) 呼吸・循環管理(3) 栄養管理 (4) 感染防止(5) ストレスを少なくする工夫 (6) 親子関係の確立とファミリーケア	講義	
4	2. 入院が小児と家族に与える影響と看護が理解できる	1) 入院している乳幼児と家族への看護	(1) 病気や入院が子どもと家族に与える影響 病気に対する子どもの理解 インフォームド・アセント (2) 入院時の子どもと家族への援助 (3) 入院生活への適応に向けた援助	講義 グループワーク	
10	3. さまざまな状況にある子どもと家族への看護が理解できる	1) 外来における子どもと家族への看護 2) 検査や処置を受ける乳幼児と家族への看護 3) 虐待を受けている子どもと家族への看護	(1) 緊急度の把握・トリアージ (2) 感染症への対応 (3) 受診時の乳幼児と家族の緊張と不安の軽減 (4) 診療の介助 (5) 育児支援 (1) 発達に応じたプレパレーション (2) 小児看護技術；バイタル測定、身体計測、採血、採尿、骨髄穿刺、腰椎穿刺、与薬（輸液療法・吸入）、鼻腔口腔吸引、酸素療法	講義 グループワーク	
4	4. 健康障害の病期別の子どものと家族の看護が理解できる	1) 周手術期における乳幼児と家族への看護 2) 障がいをもつ子どもと家族の看護 3) 救急救命処置が必要な子どもと家族への看護	(1) 子どもの手術の特徴 (2) 子どもと家族の準備 (3) 術前・術中・術後の安全と安楽 (1) 障害の受容 (2) 子どもと家族の日常生活への支援	講義 グループワーク	
8	5. 事例を通して健康問題をもつ小児の看護の実際が理解できる	1) 急性期の看護展開	(1) 川崎病患児の看護 ① 病態の理解 ② アセスメントの視点・根拠 ③ 日常生活援助、遊び	講義	
2	6. 試験		筆記試験	講義 グループワーク	
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 医学書院 山元恵子監修 写真でわかる 小児看護技術アドバンス インターメディカ				
参考文献	鴨下・柳澤/監修 子どもの病気の地図帳 講談社 石黒・浅野編 発達段階からみた 小児看護過程 医学書院 高木永子監修 看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント第5版 学研メディカル集潤社				
評価方法	筆記試験、レポート、出席状況、授業の取り組み				

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	小児看護援助論Ⅲ 「健康問題をもつ学童・ 思春期の児と家族の看護」	担当講師	田中久美
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	15時間
科目設定のねらい 長期的に治療を必要とする子どもの発達と、疾患管理行動を助けるための看護や家族支援を理解する。 慢性疾患をもつ学童・思春期の児に長期療養や入・退院が及ぼす影響を理解する。 終末期を迎える小児や家族の心理について学び、看護のあり方を考える。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
6	1. 健康障害の病期別 の子どもと家族の看護 が理解できる	1) 慢性期にある学童 期、思春期の子どもと 家族の看護 I型糖尿病	(1) 小児慢性特定疾患治療研究事業 (2) 病気による子どもと家族の生活 の変化 (3) 学校の受け入れ (4) キャリーオーバーする子ども と家族の看護 (5) 生活習慣病予備軍の子どもと 家族の看護	講義 グループワーク	
4		2) 終末期を迎える子ども と家族の看護 小児がん、白血病 AYA世代	(1) 死に対する子どもの反応 (2) 子どもへの病気の説明 (3) 心身の状態と緩和ケア (4) 子どもの死を看取る家族への 看護	講義 グループワーク	
4	2. 事例を通して健康 問題をもつ小児の看護 の実際が理解できる	3) 慢性期の看護過程	(1) 気管支ぜんそく患児の看護 ① 病態の理解 ② アセスメントの視点・根拠 ③ 学習支援とセルフケア、状 況に応じた看護	グループワーク 発表	
1	試験		筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 医学書院 山元恵子監修 写真でわかる 小児看護技術 インターメディカ				
参考文献	鴨下・柳澤/監修 子どもの病気の地図帳 講談社 高木永子監修 看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント第5版 学研メディカル 集潤社				
評価 方法	筆記試験、出席状況・授業の取り組み				